

平成26年度 事業報告書

2014年 1月 1日から 2014年 12月 31日まで

特定非営利活動法人ゴールドリボン・ネットワーク

1 事業の成果

期間中、平成26年度の事業計画に基づき、小児がんの治癒率向上のための研究開発支援として、頭蓋内原発細胞腫、ユーイング肉腫の2分野に助成金を支出。白血病分野については治療研究のための海外留学に助成金を支出し、昨年に引き続き小児がん研究のための留学制度である「TOMODACHI アフラックプログラム」では留学生選考の事務局を行った。小児がんの治癒率向上については日本小児血液・がん学会の疾病登録事業運営費の助成を続行。小児がん啓発活動としてはゴールドリボン・ウォーキングの開催支援やゴールドリボングッズを利用して小児がんについての理解を求める活動を行った。小児がん情報の発信に関しては、インターネット、広報誌、会報等による発信を行った。また小児がん患児および家族への支援として2泊3日のサマーキャンプを軽井沢にて実施。東日本大震災の被災地の小児がん経験者の高校生への奨学金制度は4年目を迎え新たに8名の奨学生を選定し計27名の高校生に奨学金を支給した。新たに小児がん患児とその家族が治療のために遠隔地の病院へ通う場合の交通費・宿泊費の支給を行う「烈くんプロジェクト」を立ち上げ21家族に支給した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-------------------------------------|---|---------------|-------------------------|--------|--------------|---------|
| 小児がんの治癒率向上・小児がん経験者の生活の質向上のための研究開発支援 | 平成20年度より継続している小児脳腫瘍、ユーイング肉腫の2分野への研究助成と、白血病分野の研究者1名に海外留学の奨学金を拠出。日本小児血液・がん学会が運営する疾病登録事業の運営費の一部を負担。「TOMODACHI アフラックプログラム」の留学生選考の事務局を行う。また、公益財団法人がんの子どもを守る会や、小児がん経験者ネットワークへの寄付を行った。 | 通年 | 全国 | 3名 | 全国 | 23,585 |
| 小児がん支援のためのゴールドリボン普及事業 | 小児がんに関して一般の方の理解を深めるため4月にゴールドリボン・ウォーキングの開催支援を行った。ゴールドリボン・バッジ等のグッズを活用してゴールドリボンの普及活動を行った。この他に事業報告会を開催した。飲料会社、食品、物品等との提携を通して一般の方への認知を高める活動も行った。 | 通年 | 全国 | 6名 | 全国 | 15,192 |
| 小児がんに関する情報収集並びに情報提供事業 | ホームページ・Facebookを中心に情報配信を継続して実施、またサバイバーネットワークと名付けた小児がん経験者限定に情報配信するコンテンツをホームページ内に増設した。 | 通年 | 全国 | 3名 | 全国 | 1,828 |
| 小児がんの患児および家族への支援並びに入院患児のQOL向上 | 小児がん患児および家族への支援として2泊3日のサマーキャンプを実施。東日本大震災の影響を受けた小児がん経験者の高校生への奨学金制度を継続した。また、小児がん患児とその家族に遠隔地の病院への通院宿泊のための費用支援を行った。 | 2014年7月 通年 | 東北3件 長野県 及び 全国 | 6名 | 東北3県 全国 | 12,360 |